

### 選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



#### 岡村 潤

(静岡/86期)

昨年は安定していた1年だったと思います。5月に地元でダービーがあるので、そこに向けて練習内容を変えて、それがかみ合ってきました。伊東記念を走れなかったのが静岡記念に対しての思い入れは強いし、しっかり結果を出せればと思っています。

#### 渡邊 雄太

(静岡/105期)

最近はちょっと思ったとおりの展開になってなかったし、逃げても3着が限界だった。でも1月平記念の二次予選で久しぶり逃げ切れたので。去年は決勝の静岡勢が僕一人だったので、今回はできるだけ多く決勝に乗って、誰かが優勝者できるように。



#### 森山 智徳 (熊本/98期)

1月小倉2⑦①着、同月防府1④②着、2月奈良1①⑤着と最近の成績は上昇カーブを描いている。奈良の予選は嵯峨昇の仕掛けを合わせて逃げ切っていて、自慢のスピードには一段と磨きがかかった印象だ。



#### 今岡 徹二 (広島/111期)

今期は初のS級挑戦。先行基本の走りに変わりはなく、1月和歌山記念7②①④着は逃げて2連対。同月防府は予選で逃げ切ると、準決も逃げて3着に粘り初優勝を果たしている。今シリーズ注目の一車だ。



#### 末木 浩二 (山梨/109期)

1年ぶりにS級復帰。1月平記念は2カ月の欠場明けだったが1⑨②⑦着と2連対。一次予選は伊藤信の反撃を凌いで逃げ切ると、3日目は6番手から直線大外を鋭く伸びた。同格戦は目が離せない。

## S級ブロックセブン

2/24 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

本線を崩せば、石塚輪太郎、岡本総の中近勢。まくりを多用と石塚が自在性を高めているので両者で組むかは流動的だが、ともにタイミング良くタテ脚を繰り出せば一発ある。

河合佑弥ー近藤保で連係する東勢に期待。本命に推す河合は、落車で乱した調子を昨年後半戦から取り戻し、先行しての力強さが戻った。今年は大事の年と気合も入っており、ここも持ち味の積極果敢な走りでもレースを支配して押し切る。近藤の差し切りも十分。ブロックセブンは昨年7月弥彦でも小原唯のまくりを3番手から交わして勝っている。その後もコンスタント勝ち星を挙げていた差し脚はいかなる展開でも脅威だろう。

積極果敢な

河合佑弥



河合 佑弥